

No.	022	—	1001	事務事業名	ハートなんでも相談員設置事業（小学校）				公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	---------------------	--	--	--	------	---

PLAN	課名	学校教育課	係名	総務係	電話番号	089-964-4420		メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.lg.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	平成 16 年度 ~	期間設定なし				
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	2 青少年の健全育成		主要施策	1 いじめ・不登校等への組織的対応					
	事業の目的	不登校との関わりが深いいじめ、暴力行為、非行等の早期発見や未然防止のため。				根拠法令等	いじめ防止対策基本法							
	事業の手段	子どもや保護者、教員の相談者としての人材を配置し、地域と学校との連携や学校の相談体制の強化を図ります。				掲載計画								
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	最終目標			
		不登校児童数		教育相談体制を整備することによって不登校児童を減少させる			人	目標 13	14	15	0			
		相談件数		児童や保護者が気軽に相談できる体制の充実を図る			件	目標 2,800	2,800	2,800	2,800			
							実績	15	16					
							実績	2,643	2,566					
DO	活動内容	① 児童に対する相談業務				④								
		② 保護者に対する相談業務				⑤								
		③ 教職員に対する相談業務												
	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費				
	直接事業費			令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度予算	備考							
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円	財源として、国・県支出金(3/5以内、上限1校あたり93,000円)があるが、人件費と重複するため、数値を入れない。(本市の金額279,000円)							
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源		704 千円	514 千円	678 千円								
	計(A)		704 千円	514 千円	678 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費		0.006 人 38 千円	0.006 人 38 千円	0.006 人 38 千円									
	臨時職員工数・経費		1.462 人 2,961 千円	1.462 人 3,083 千円	1.962 人 4,138 千円									
全体事業費(A+B)		3,702 千円		3,635 千円	4,854 千円									
CHECK・ACTION	一次評価者	総務係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
	必要性	問題行動やいじめ等の未然防止や早期発見、早期対応を目的に学校の教育相談体制の充実を図るため、本事業を実施する必要性があります。												
	有効性	学校に相談できる存在がいることで、児童や保護者の悩みや不安を軽減させるとともに、教職員の心の安定にも有効であると考えます。												
	達成度	相談対象者が多いため予約制となっている学校がありますが、希望する相談者の対応はできています。												
	効率性	相談対象者の多い学校から人員増等の要望が出ておりますが、必要な人員が集まらないという現状があります。												
	当面の課題	学校の要望により1名増の予算を確保することができましたが、人員の確保ができていない現状があります。今後はより広く周知していくことで人員の確保につなげていくことが課題であると考えます。												
	改革計画	広報やハローワーク、市のホームページなどで周知してきましたが、学校関係者等への声掛けも継続して行い、人員確保につなげ、相談体制をより充実したものにしていきたいと考えます。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項	対象児童の低年齢化や児童を取り巻く社会環境が複雑多様化する中で、問題行動の未然防止や早期発見、早期対応のために専門家の協力を得て、学校の教育相談体制の充実を図ることは重要です。児童、保護者及び教員に関する諸問題に対して本事業は成果を上げており、今後も継続して取り組む必要があると考えます。													

No.	022	—	1005	事務事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業				公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	-------------------	--	--	--	------	---

PLAN	課名	学校教育課	係名	総務係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.lg.jp								
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	平成 20 年度 ~	期間設定なし						
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	2 青少年の健全育成		主要施策	1 いじめ・不登校等への組織的対応							
	事業の目的	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など児童生徒の問題行動への対応をするため。				根拠法令等	いじめ防止対策基本法									
事業の手段	社会福祉等の専門的な知識、技術を用いて、児童生徒や保護者、教職員の相談に応じたり、関係機関とのネットワークを活用して援助を行ったりします。				掲載計画											
達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	最終目標						
	支援対象となった児童生徒数		支援により問題を抱える児童生徒の置かれた状況の改善を図ることが目的であるから。			人	目標 70	116	135	140						
	支援により問題が解決あるいは好転した割合		支援により問題が解決、好転した合計数/継続支援対象児童生徒の抱える問題の合計数×100			%	目標 45	45	45	45						
							実績 116	135								
DO	活動内容	①	支援対象となった児童数			④										
		②	支援対象となった生徒数			⑤										
		③	学校外での活動回数													
	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費						
	直接事業費		令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度予算	備考										
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	財源として、国・県支出金(3/5以内、有資格者上限652,000円、無資格者上限220,000円)があるが、人件費と重複するため数値を入れない。(本市R3決算:769,204円、R4決算:769,204円、R5予算:813,846円)										
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円											
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円											
		一般財源	706 千円	401 千円	499 千円											
	計(A)	706 千円	401 千円	499 千円												
人件費(B)	正職員工数・経費	0.006 人	38 千円	0.006 人	38 千円	0.006 人	38 千円									
	臨時職員工数・経費	0.468 人	948 千円	0.644 人	1,358 千円	0.638 人	1,346 千円									
全体事業費(A+B)		1,692 千円		1,797 千円		1,883 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	総務係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実	
	項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)														
	必要性	病院や福祉機関等と児童生徒等をつなぐ役割はほかにはおらず、毎年対象者が増えていることから、事業の必要性は大きいと考えます。														
	有効性	学校での相談業務にとどまらず、学校外でも様々な活動を行うことが許されている立場であり、その立ち位置を大いに活用した児童生徒、保護者への働きかけは非常に有効です。														
	達成度	中学校を拠点校とし、要望に応じて市内各小学校へも出向いています。また、不登校等の児童生徒への家庭訪問や病院への訪問、家庭と各施設等をつなぐ役割など、様々な活動をしており、児童生徒への支援を行いました。														
	効率性	各家庭等との信頼関係が築かれた上での病院等への付き添いなどの現状がある中、対象者が増えても活動時間が限られているため、時間調整等が難しい場合があります。														
	当面の課題	年々増加する相談に対応するため、令和4年度にはスクールソーシャルワーカー一人当たり10時間増加することができましたが、根本的な解決とはなっていません。年間活動時間増の要望をしていき、取りこぼしのない相談等の対応をしていくことが必要であると考えます。														
	改革計画	学校担当者だけではなく、スクールソーシャルワーカーへも調査を行い、年間活動時間増の予算を要望し、年々増加する相談等の業務に対応できるようにしていきたいと考えます。														
二次評価者	学校教育課長		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実		
二次評価での指摘事項	家庭的な背景が要因で問題を抱える児童生徒が増加している中、スクールソーシャルワーカーの主な役割である対象児童・生徒の家庭訪問、関係機関と児童・生徒のつなぎ、学校に対する支援体制づくりや専門的な助言、関係機関との連携の仲介などは重要であり、かつ高い専門性を有するものであることから、今後も継続して取り組む必要があると考えます。															

No.	022	—	2005	事務事業名	事務局一般管理費（登下校通知・不審者情報配信システム保守管理事務）	公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	-----------------------------------	------	---

PLAN	課名	学校教育課	係名	学事係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.lg.jp						
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託	実施計画	非該当	事業期間	平成 18 年度 ~ 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	1 学校教育の充実		主要施策	2 安全・安心な教育環境の整備					
	事業の目的	児童の登下校情報を保護者へ通知することで、子どもの安全確認やコミュニケーションツールとして利用するため。				根拠法令等								
	事業の手段	児童が校舎内に設置しているICカードリーダーにICカードをかざすことで、保護者のメールアドレスへ自動で登下校時刻を通知するシステムの保守管理を行います。				掲載計画								
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	最終目標				
		利用者割合	全児童のうち、利用を希望する保護者の割合		%	目標	10	10	10	10				
						実績	12	10						
						目標								
						実績								
目標														
実績														
DO	活動内容	①	利用希望者とりまとめ			④								
		②	保守委託料他支払い			⑤								
		③												
	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費				
	直接事業費			令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円		0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円		0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円		0 千円	0 千円								
		一般財源	201 千円		296 千円	379 千円								
	計(A)	201 千円		296 千円	379 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.065 人	410 千円	0.102 人	648 千円	0.102 人	648 千円							
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)	611 千円		944 千円	1,027 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	学事係	総合評価点	D	必要性	2	有効性	3	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	廃止/休止
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
	必要性	利用希望者数が減少していることから、ニーズが低下していると考えられます。GPS機能を用いたサービス等を代替サービスとして導入することで、より保護者のニーズに応えられる余地があります。												
	有効性	登下校時刻をリアルタイムで保護者に通知するシステムは、現状他にはなく、目的に対する貢献度は高いです。												
	達成度	各年度ごとの全児童数に対する利用者割合は減少傾向にあります。												
	効率性	保護者への案内及び申込書の提出を紙媒体で行っているため、電子申請システム等を取り入れることで、事務の効率化とコスト削減が見込めます。												
	当面の課題	当該システムのニーズが低下していることに加えて、保護者への利用案内や申込書のとりまとめ等の事務について、学校側の業務負担が大きいです。												
	改革計画	事務業務負担を減らし、且つGPS等の機能を用いた新たなシステムの導入を検討します。												
	二次評価者	学校教育課長	総合評価点	D	必要性	2	有効性	3	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	廃止/休止
	二次評価での指摘事項	利用者数が減少し、ニーズが低下していると考えられます。児童の登下校時見守りの観点からGPS機能を用いた代替サービス等の導入や急速に技術革新が行われているスマートフォン等、他の方法による登下校の安全確認についての研究・検討が必要です。												

No.	022	—	2058	事務事業名	特色ある学校づくり事業（小学校）	公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	------------------	------	---

PLAN	課名	学校教育課	係名	学事係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.lg.jp						
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	補助等	実施計画	非該当	事業期間	平成 16 年度 ~ 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	1 学校教育の充実		主要施策	4 豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進					
	事業の目的	地域の特性を活かした教育活動を行い、児童の豊かな感性を育て、社会的な人間性を育むため。				根拠法令等								
	事業の手段	各学校・地域の特性を活かした体験型で内容豊富なふろさと教育を実施するために必要な講師謝礼や物品購入等の経費を補助します。				掲載計画								
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	最終目標				
		事業実施学校数		事業を実施する学校に補助金を交付するため		校	目標 7	7	7	7				
							実績 7	7						
							目標							
							実績							
DO	活動内容	① 補助金交付申請書受付及び交付決定			④									
		② 補助金支払い			⑤									
		③												
	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費				
	直接事業費			令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度予算	備考							
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源		558 千円	558 千円	558 千円								
	計(A)		558 千円	558 千円	558 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.061 人	385 千円	0.067 人	426 千円	0.067 人	426 千円							
	臨時職員工数・経費	0.015 人	30 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)		973 千円		984 千円		984 千円								
CHECK-ACTION	一次評価者	学事係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
	必要性	補助事業として、市が補助金を交付しなければ、小学校が事業を実施するための財源がなくなります。												
	有効性	総合的な学習の時間として、地域の方を講師に招くなどして、地域の特性を活かしつつ、各学年ごとに児童の個性を伸ばすための事業を実施しています。												
	達成度	市内全小学校が事業を実施し、市として適正に補助金を交付しています。												
	効率性	補助金の要綱に沿って、効率的な手順で事務処理をしています。												
	当面の課題	「総合的な学習の時間」として取り組む特色ある学校づくり事業においては、事業実施による、児童の主眼的・対話的で深い学びとなっているか、又、児童の豊かな感性を育て、社会的な人間性を育むことに貢献しているのかを客観的に示すことが難しいです。												
	改革計画	教員による、事業実施後の振り返りを行います。												
	二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	二次評価での指摘事項	各学校の創意工夫による学習活動を行うことで、異なる魅力を持った学校づくりを推進することができています。また、学習活動を通じて地域の魅力の再発見など、児童が学ぶことが多く、今後においても地域の実態や特性を活かした創意ある活動に努め、地域に根ざした魅力ある学校づくりを推進するために、実施が必要な事業であると考えます。												

No.	022	—	2059	事務事業名	特色ある学校づくり事業（中学校）				公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	------------------	--	--	--	------	---

PLAN	課名	学校教育課	係名	学事係	電話番号	089-964-4420		メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.lg.jp						
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	補助等	実施計画	非該当	事業期間	平成 16 年度	～ 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	1 学校教育の充実		主要施策	4 豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進						
	事業の目的	生徒の豊かな感性を育て、社会的な人間性を育むため。				根拠法令等									
	事業の手段	各校の特性を活かした体験型で内容豊富なふさと教育を実施するための事業に必要な講師謝礼や物品購入等の経費を補助します。				掲載計画									
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	最終目標					
		事業実施学校数		事業を実施する学校に補助金を交付するため		校	目標 2	2	2	2					
							実績 2	2							
							目標								
							実績								
DO	活動内容	① 補助金交付申請書受付及び交付決定				④									
		② 補助金支払い				⑤									
		③													
	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費					
	直接事業費			令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度予算	備考								
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円									
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円									
		一般財源		541 千円	525 千円	720 千円									
	計(A)		541 千円	525 千円	720 千円										
人件費(B)	正職員工数・経費	0.034 人	215 千円	0.067 人	426 千円	0.067 人	426 千円								
	臨時職員工数・経費	0.009 人	18 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		774 千円		951 千円		1,146 千円									
CHECK-ACTION	一次評価者	学事係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持	
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）													
	必要性	補助事業として、市が補助金を交付しなければ、中学校が事業を実施する財源がなくなります。													
	有効性	総合的な学習の時間として、地域の方を講師に招くなどして、地域の特性を活かしつつ、各学年ごとに生徒の個性を伸ばすための事業を実施しています。													
	達成度	市内全中学校が事業を実施し、市として適正に補助金を交付しています。													
	効率性	補助金の要綱に沿って、効率的な手順で事務処理をしています。													
	当面の課題	「総合的な学習の時間」として取り組む特色ある学校づくり事業においては、事業実施による、生徒の主体的・対話的で深い学びとなっているか、又、生徒の豊かな感性を育て、社会的な人間性を育むことに貢献しているのかを客観的に示すことが難しいです。													
	改計画	教員による、事業実施後の振り返りを行います。													
	二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持	
	二次評価での指摘事項	各学校の創意工夫による学習活動を行うことで、異なる魅力を持った学校づくりを推進することができており、学習活動を通じて地域の魅力の再発見など生徒が学ぶことも多いため、今後においても継続して事業を実施する必要があると考えます。													

No.	022	—	2077	事務事業名	外国語指導助手派遣事業（中学校）				公的関与	6
-----	-----	---	------	-------	------------------	--	--	--	------	---

PLAN	課名	学校教育課	係名	学事係	電話番号	089-964-4420		メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.lg.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	平成	年度	～	期間設定なし	
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	1 学校教育の充実		主要施策	3 確かな学力を育てる教育の推進				
	事業の目的	外国語授業における教員の補助や指導力の向上のため				根拠法令等							
	事業の手段	東温市内の小中学校に外国語指導助手を配置します。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	最終目標		
		外国語指導助手配置数					人	目標	2	2	2	2	
								実績	2	2			
								目標					
								実績					
						目標							
						実績							
DO	活動内容	① 外国語指導助手派遣事業				④							
		② 支払業務				⑤							
		③											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費			
	直接事業費			令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	備考						
		国・県支出金		0千円	0千円	0千円							
		地方債		0千円	0千円	0千円							
		その他特定財源		0千円	0千円	0千円							
		一般財源		9,882千円	9,916千円	10,009千円							
	計(A)		9,882千円	9,916千円	10,009千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.081人	511千円	0.081人	514千円	0.095人	603千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		10,393千円		10,430千円		10,612千円							
一次評価者	学事係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	外国語指導助手の派遣を廃止・休止する場合、学校側で人材の確保が必要となり、授業等での影響が多いと思われます。												
有効性	外国人との交流は減多にない機会であり、また交流により児童生徒が外国語に親しみがもてると考えられます。												
達成度	東温市内の小中学校に配置に必要と考えられる人数は配置しています。												
効率性	現在契約している派遣業者以外にも、学校へ派遣可能な機関を検討する必要があります。												
当面の課題	当業務は、外国語指導助手としての資質や能力をもった人材の確保や、配置している外国語指導助手が事情により長期不在する場合に代理又は後任の外国語指導助手の手配が必要です。												
改革計画	外国語指導助手が事情により長期不在する場合に代理又は後任の外国語指導助手の手配が可能な機関を検討し、安定した人材の確保を行います。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	市内の中学校2校それぞれに外国語指導助手を配置しており、教員との連携のもと、ネイティブな英語に触れることができる外国語教育の充実が図られていると考えます。一層の連携及び授業内容の工夫に努めてください。												